

知事とのふれあい対話（中種子町）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
<p>たばこ農家を廃作し、新しい農作物に転作する場合の機械の導入等への助成について</p>	<p>今年、JTの方からたばこ作の廃作依頼があり、中種子町でも廃作し、新しい農作物の栽培を始めようとしている農家がある。                  しかし、たばこ作の機械と、新しい作物の機械が違うところで、10年前に廃作の依頼があったときには、機械を導入するにあたって、助成があった。                  そのことについて、熊毛支庁の方には、こういう機械を買いたいのだが、助成をお願いしますという要望はしているところで、県としても、これが実現できますよう、よろしく願いしたい。</p>	<p>県において、葉たばこ廃作者が円滑な経営転換ができるよう、10月12日に、国に対し要請を行ったところであり、国の令和3年度補正予算で、葉たばこから他作物への転換に必要な機械等の導入・支援が行われることとなっております。                  県としましては、廃作者に対し、円滑な経営転換と農地の有効利用が図られるよう、国事業の活用とあわせて、引き続き支援してまいります。</p>	<p>農産園芸課</p>

知事とのふれあい対話（中種子町）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
<p>離島における夜間救急搬送体制について</p>	<p>自衛隊側においては、今後、陸上海上航空一体となって、搬送業務を補填すると関係記事にも書いていた。私が心配するのは、航空自衛隊となれば宮崎の新田原、陸上自衛隊となれば熊本の益城にある陸上自衛隊だが、鹿屋からの距離が随分遠くなることを考えると、レスポンスタイムが長くなるのではないかと危惧している。</p> <p>県の方も、今後自衛隊とのいろいろ話し合いもあると思うので、レスポンスタイムが長くならないようなことで、それを主眼に置いて、話し合いをしてもらいたい。</p> <p>10月初めだったと思うが、西之表市の新生児を、十管本部のヘリが搬送したという記事が新聞に出ていた。</p> <p>海上保安庁のヘリが、陸上から傷病者を運ぶというのは、あんまり例がないように思うが、自衛隊の他にもそういった他の機関が対応できるのであれば、それも併せて、夜間救急搬送ということで、お願いしてもらえればと思う。</p>	<p>自衛隊による離島からの急患搬送については、南北600キロメートルにわたる広大な県域に27の有人離島を有する本県にとって、県民の生命にかかわる重要な問題でありますことから、11月16日に防衛省を訪問し、今後の離島急患搬送体制が維持されるよう、強く要望してきたところであります。今後、全自衛隊による具体的かつ実効性のある搬送体制が構築されるよう、引き続き、防衛省等、関係機関と協議を行ってまいります。</p> <p>なお、海上保安庁による搬送につきましても、これまでも海上業務に支障のない範囲で、協力をいただいているところであり、引き続き、その範囲において、協力をいただくこととしております。</p>	<p>消防保安課</p>

知事とのふれあい対話（中種子町）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
熊毛地域におけるドクターヘリについて	<p>昼間においては奄美にはドクターヘリがあるので、かなり力強いものだと思うが、この種子屋久においては、そういった機体がないので、的確に救急搬送の目的を達するためには、そういうことも必要ではないかと思うので、よろしくお願ひしたい。</p>	<p>県においては、県本土、甑島、熊毛地域及び三島村を運航範囲とする県ドクターヘリを運航しており、当該ヘリが他の現場へ出動している場合や夜間で出動できない場合は、消防・防災ヘリや自衛隊ヘリなどにより救急搬送を行っているところです。</p>	保健医療福祉課
将来の農業の担い手確保について	<p>現在、農業に従事している人たちに、後継者があまりいないということをよく耳にする。私もその人だが、今後田んぼや畑が空いてくると思われる。もうすでに荒れてるところも何ヶ所もある。売ろうにも売れない。鹿がくるところは借りる人もいない。</p> <p>農業の将来がどうなるのか。この1点を聞きたい。県の方では、何か対策をしているか。</p>	<p>県では、担い手の確保・育成に向けて、経営確立に必要な資金の交付や、栽培技術・経営管理の向上に向けた支援、さらに、機械・施設の導入や法人化の推進など、経営発展段階に応じた支援に取り組んでおります。</p> <p>また、優良農地の確保や、農地の効率的な利用を推進するため、農地を借り受け、担い手へ貸し付ける「農地中間管理事業」の推進などによる担い手への農地の集積・集約化や、日本型直接支払制度の活用支援などを通じた荒廃農地の発生防止・解消に取り組んでいます。</p> <p>引き続き、将来の本県の農業を担う担い手の確保・育成に努めてまいります。</p>	経営技術課 農村振興課

知事とのふれあい対話（中種子町）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
熊毛地域への県立病院の設置について	<p>現在、種子島には南種子町に公立病院があるが、鹿児島県にはいろんな地域に県立病院がある。熊毛には、県立のつく施設もないし、病院もないし、病院が充実できれば、ヘリコプターで本土に運ぶ必要もないんじゃないかと思う。</p> <p>県立病院ができれば、雇用も必然的に生まれてくるんじゃないかと思うが、できればそういう施設を、熊毛にも一つ作っていただきたいと思う。</p>	<p>種子島においては、民間医療機関や市町等が運営する医療機関によって、地域の医療提供体制が整備されているところです。</p> <p>県においては、これらの医療提供体制を支えるため、へき地医療拠点病院である種子島医療センターに対する運営費の助成、二次救急医療体制確保に係る補助等について、国の補助制度も活用しながら実施しています。</p> <p>県としては、引き続き、種子島における医療提供体制の充実に向け、総合的に必要な施策を実施してまいりたいと考えています。</p>	保健医療福祉課
離島から鹿児島本土にきた場合の県庁までの交通アクセスの改善について	<p>種子島から鹿児島島に行くと、鴨池・与次郎方面に行く場合、交通の便が悪く、県庁にまだ1度も行ったことがない。</p> <p>できれば港の方から与次郎とか県庁とか交通の便がもうちょっと良くなったら、一般の人なんか、県庁に行ってみようかなとか思う人もたくさんいるんじゃないかと思う。</p>	<p>県においては、県内バス路線の維持を図るため、広域的、幹線的バス運行経費の支援等を行っているほか、市町村が設立する地域公共交通会議等に参画し、路線維持の利用促進等について、助言・検討しているところです。</p> <p>引き続き、各市町村や各バス事業者と情報共有を行ってまいります。</p>	交通政策課

知事とのふれあい対話（中種子町）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
<p>子どもを預けられるサービスについて</p>	<p>SDGsの考え方において、5番目のジェンダー平等に反するのが現状。誰1人取り残さない持続可能な社会を目指すのであれば、子供を持つ母親が、生き生きと働ける公的環境を作ることが大切だろうと思う。</p> <p>保護者が、子供の面倒見ることができないときに、1日や時間単位で一時的に子供が預けられるサービス、一時保育、または、病児保育、病後児保育等々の充実を、図っていただきたいと思う。</p>	<p>女性が、少子高齢化の中で活躍するということが、地域活性化においても必要であると認識しております。</p> <p>子どもを安心して産み育てることができる環境づくりを推進する上で、一時預かりや病児保育は重要な事業であると考えています。</p> <p>市町村においては、子ども・子育て支援事業計画に基づき、一時預りや病児保育など地域の実情に合った多様な保育サービスに取り組んでいます。</p> <p>県においては、保育サービスの一層の充実が図られるよう、国の交付金等も活用して、そのような市町村の取組を支援しているところです。</p>	<p>子育て支援課</p>

知事とのふれあい対話（中種子町）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
農業経営収入保険について	<p>農業経営収入保険は、農業経営全体を対象としていて、すべての農作物の自然災害、収量減少、価格低下も含めた、収入減少を補填するんですが、保険金では、80%までしか見てくれない。80%だと、とても保証とは言い切れないので、90%までの、あと残りの10%を、自分で積み立てていかなければならない。災害がなければ次年度に繰り越すことになるが、その10%の掛け金がやけに高いので、皆さん二の足を踏んでるんだろうと思う。</p> <p>そこで80から90までの間の10%。この部分を、国庫負担で、もう少し、見てはもらえないだろうかというのがお願い。</p>	<p>収入保険の積立金については、国が75%の補助を行っているため、農業者の負担は25%となっており、保険金の支払いの際は、農業者が積み立てた額の3倍の金額を国が支援しているところです。保険料は掛捨てである一方、積立金は自分のお金であり、補てんに使われない限り、翌年にそのまま繰り越され、翌年の積立金の支払いは必要ありません。</p> <p>また、保険料及び積立金が高額となる農業者の負担軽減策として、分割納付や制度資金の融資を受けることができます。</p> <p>収入保険制度の見直しについては、農業者のニーズや関係団体の意見を十分に踏まえるなど、農業者の視点に立って制度の見直しを行うよう、県開発促進協議会や全国知事会を通じて国に対し要請しているところです。今後も引き続き、予算確保と併せて要望してまいります。</p> <p>収入保険への加入手続きや制度に対する御相談については、収入保険制度を運営している県農業共済組合熊毛支所へ御相談ください。</p>	農業経済課

知事とのふれあい対話（中種子町）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
商店街の活性化について	<p>商店街の活性化を目的に、コアストリートin中種子という朝市について、商工会女性部が中心となり実施してきた。最初の3年間は、町の方からも助成があり支援していただいてやってきたが、現在4年目になり、やはり家賃とかそういうものに、こういう市場をやってみて、少しでも、それに充てましようっていう形でやっている。商工会女性部は、71名の部員がいるが、自分の仕事をしながらなので、ボランティア活動をやる方は、そのうち20人ぐらいの状況。今後、女性部、中種子町の商工会がどう動いていって、どういう発展になるのかが全く見通せない状況のように感じている。</p>	<p>県では、主体的に活性化を目指す商店街に対しまして、アドバイザーの派遣等の支援を行うほか、その取組事例をセミナー等で紹介しているところです。</p> <p>今後とも、関係団体や市町村とも連携し、魅力ある商店街づくりを支援してまいります。</p>	商工政策課

知事とのふれあい対話（中種子町）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
<p>離島から大隅加工センターを活用する場合の支援について</p>	<p>自分で作った安納芋を使って、加工品を作っているが、その加工品を商品に仕上げるには、自分たちの加工場では限られた商品しかつくれない。そこで、大隅加工センターを使用するにあたって、離島からあそこまで行って研修を受けて、商品に仕上げるにはかなりの経費と時間がかかる。もし、できれば、離島から行って、大隅加工センターで商品開発をしたいと思う方が、使いやすいような形にしていただければ嬉しいかなと思う。例えば離島割引とか、補助金とか。</p>	<p>県では、大隅加工技術研究センターにおいて、加工等の技術相談を対面の他に電話またはリモートでも対応しております。 また、必要に応じて、大隅加工技術研究センターなどの各試験機関の担当者が、地域の加工施設等に出向き、事業者が抱える課題に対して直接相談を受ける出前相談会を実施しておりますので、ぜひご利用ください。なお、お申し込みは市町村の窓口（農政担当部署）までお願いします。 今後とも、事業者の個々の課題に応じたきめ細やかな支援に努めてまいります。</p>	<p>かごの食ブランド推進室</p>
<p>中種子町の空港跡地の利活用について</p>	<p>中種子町の中で、町民が使っていない県所有の土地である空港跡地について、地方創生のために、県として、何か利用方法を考えてもらえたらうれしい。それがもし難しければ、町に返していただいて、町は何か使い道があるのではないかなと思っている。</p>	<p>種子島空港跡地の活用については、地元自治体や事業者等の提案などを踏まえながら、地域の活性化につながるような長期的視点に立った活用策について検討していきたいと考えています。</p>	<p>港湾空港課</p>

知事とのふれあい対話（中種子町）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
<p>今後の事業経営について</p>	<p>知事にお伺いしたいのは、独立するとか、この町で経営をしていくとかというのは当然個人の問題ではあると思うが、そんな中で、若い人、これから経営、父の代と変わって経営をしていく人、もしくは、父の経営とは関係なく、自分でやっていこうと、家業は継がずに別のことをやって行こうか悩んでいる人、そんないろんな人たちがいると思うが、改めてこんな時代を若い人たちがどんなふうにやっていけばいいのかというアイデアをいただけないか。</p>	<p>県では、新たな事業活動に積極的にチャレンジする中小企業の経営革新計画の策定等を支援し、県内中小企業者の経営革新計画の策定や、その計画をに基づき実施する販路開拓等に要する経費の一部助成等の支援を行っています。</p> <p>また、中小企業等が抱えている様々な問題に対して、課題解決のための専門家を派遣して診断助言を行っています。</p> <p>起業しようとする人材については、本県産業の原動力となることが期待されることから、起業に向けた機運醸成を図るため、ビジネスプランコンテストを開催しビジネスプランの策定や事業化に必要な資金面の支援等を行っています。</p> <p>また、「かごしま地域課題解決型起業支援事業」を実施しており、地域が抱える課題の解決に資する社会的事業の起業に対する支援も行っております。</p> <p>このほか、新規事業につながるアイデアの創発を支援するため、地域課題について、グループでアイデアを出し合い解決策を探るアイデアソンを実施しています。</p> <p>国が、かごしま産業支援センター内に「よろず支援拠点」を設置しており、中小企業、小規模事業者の経営上の相談に対し、必要な助言や積極的なフォローを行っていますので、お悩みの際には、是非御相談ください。</p>	<p>中小企業支援課 新産業室 商工政策課</p>

知事とのふれあい対話（中種子町）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
離島の商工会青年部の取組について	<p>知事が、組織として、他の島の青年部はこんなことで、すごく盛り上がっていて、若い人がどんどん帰ってきてるよとか、そういうのもし、ご存知であれば教えていただけないか。</p>	<p>長崎県東彼商工会青年部において、古民家をリノベーションした店舗や拠点づくりをサポートする取組がなされた結果、Iターン・Uターンの移住者が増加した事例について、県商工会連合会から情報提供をいただいています。</p> <p>県では、商工会等の青年部、女性部の組織強化及び活動の推進を図るため各種研修会、講習会等に要する経費の支援を行っておりますので、そのような機会も活用されると、先進事例の情報収集等が進むと思われます。</p>	商工政策課
生理の貧困における県有施設の設置について	<p>生理の貧困について、コロナ禍による、困窮家庭やひとり親世帯でネグレクト家庭による女の子の生理用品が自由に買えない。</p> <p>鹿児島県でも、まずは鹿児島県の公共施設、女の子が集まるような、小さな子供が集まるような、公共施設のトイレに生理用品を設置していただいたり、そういう生理の貧困、その親に生理用品とかを買ってもらえなかったりそういう知識がない子供たちにも、幅広く行き渡り、そういうつらい思いをする子供たちがなくなるように、県の、まずは施設から設置していただくように、取り組んでいただけたらと思う。</p>	<p>令和3年10月から、かごしま県民交流センターにおける女性相談の窓口において、必要な方に生理用品を試行的に無料提供する取組を行っています。また、「生理の貧困」に関する現状や課題を把握するため、同年9月から10月にかけて、県内在住の女性を対象としたWEBアンケート調査を実施したところです。今後、アンケート調査の結果やかごしま県民交流センターでの実施状況等を踏まえ、引き続き、市町村や関係団体とも連携を図りながら、「生理の貧困」への支援に向けた動きが県内に広まるよう取り組みます。</p> <p>学校では、健康観察や健康相談等を通して、児童生徒の心身の状況を把握し、必要な指導等を行っています。生理用品等を自分自身で用意できない児童生徒に対しては、保健室において提供しているところです。</p>	男女共同参画室 保健体育課

知事とのふれあい対話（中種子町）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
農福連携におけるスマート農業やAIの活用について	<p>農福連携について、その言葉が出てしばらく経つが、種子島の基幹産業である農業と福祉が結びついているというイメージが私の中であんまりなかったところ。企業が障害者の雇用を行っているが、まだまだ数は少ないかなと思っている。</p> <p>島内に大きな加工場があったりとか、スマート農業ということで、AIを活用したような、そういったものの補助等を積極的に行っていたら、障害のある方々の就労に繋がったりとか、また、島内の方々の雇用に繋がるんじゃないかなと思っている。</p>	<p>県では、農福連携を進めるため、庁内関係部局において、障害者の就労機会の拡大等に関する検討を行っています。</p> <p>また、かごしま障がい者共同受注センターに農福連携推進員を配置し、現地研修会や農福連携マルシェの開催、障害者就労施設に対する農業技術支援等の取組を行っています。</p> <p>スマート農業は、地域における労働力不足の解消や生産性向上等の解決を図るためのものとして、県内でも、スマート機器の導入が進みつつあります。</p> <p>農福連携におけるスマート農業の活用については、今後、検討してまいりたいと考えております。</p>	障害福祉課 経営技術課
自殺対策について	<p>今自殺者がまだまだ増えているという状況で、コロナということもあるが、鹿児島県も、9月の予防週間とか、自殺対策計画の策定とか、対応を行っていただいているが、こういう悲しいことが少しでも減るように、またご対応・ご尽力いただければと思う。</p>	<p>県では、自殺対策として自殺予防情報センターを設置し、相談に対応しています。また、「新型コロナウイルスに対応した心のケア相談窓口」を設置し、県民の相談に対応しているところです。</p>	障害福祉課

知事とのふれあい対話（中種子町）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
バイオディーゼルについて	<p>私ども平成27年度にNEDOの事業で、東北大と共同でバイオディーゼルの研究を行ってきた。種子島島内でサトウキビとか、そういうバイオマス由来の燃料を作る技術というのができ上がりつつある。</p> <p>その中で、種子島を特区みたいな形にして、軽油の中に5%のバイオディーゼルをまぜるB5燃料を活用できないかなというふうに、今そういう話が出ているところ。ぜひそういった話が、本格的に進んだときには、またご協力いただければと思う。</p>	<p>本県におけるバイオマス燃料の導入事例につきましては、鹿児島市、大崎町、屋久島町などで、廃食用油からのバイオディーゼル燃料の製造・利用が行われております。</p> <p>近年、県内におけるバイオマス燃料製造量は減少傾向にあります。が、県としては、今後とも、県のもので豊かな資源を最大限活用し、バイオマス燃料を含めた再生可能エネルギーの導入促進などに取り組んでまいりたいと考えております。</p>	エネルギー政策課
介護職の不足及び勉強しやすい環境の整備について	<p>高齢者が多い中で、今困っていることが、介護職の不足で、デイサービス、ヘルパー事業所があるが、介護職員やヘルパー不足が問題になっている。</p> <p>定員が20人利用できるデイサービスでも、職員が少ないので、18人しか利用できないというような制限も出てきている。介護の質の向上のために勉強しやすい環境や、私たちも鹿児島に行って勉強するということも、船を使っていけないということと、あとそれだけ経費もかかるということと、なかなか勉強の方も難しいところ。</p>	<p>県では、介護職員のキャリアアップのための実務者研修等の受講の支援を実施しています。</p> <p>また、外国人介護人材の確保を図るため、外国人介護人材を受け入れる介護施設への学習支援経費等の助成や外国人留学生に学費等を給付する介護施設への助成を行っているほか、介護現場の業務効率化や介護職員の負担軽減の観点から、介護事業者に対し、介護ロボットやICT導入の支援を行っています。</p> <p>これらに加え、令和3年度からは、離島・中山間地域等にある介護事業所等の職員が地域外で行われる資質向上のための研修を受講するために必要な旅費等の費用を助成しているところです。</p> <p>なお、介護職員初任者研修や介護福祉士実務者研修等は一部の研修事業者でオンラインによる研修も実施しているところです。</p>	社会福祉課 介護保険室

知事とのふれあい対話（中種子町）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
離島の子どもたちの本土での部活動等に対する支援の拡充について	<p>子供たちの鹿児島本土への移動、そういう部活での経費について、町の方からも、トッピーとか、飛行機そういう補助はいただいているが、なかなか子供たちも学割というものがないので、県からも何か補助的なものがないかなというふうに考えている。</p>	<p>現在、県では、離島の学校に在籍する生徒の経済的負担を軽減するため、中体連や高体連の県大会等への参加経費の一部を助成しています。</p> <p>また、国に対し、県開発促進協議会を通じて、離島の学校に在籍する生徒が参加する文化・スポーツ大会への交通費及び宿泊費の助成制度の創設について要望しているところです。</p>	保健体育課
農業就業者に対する補助金の補助対象年齢の拡充について	<p>最近農業を始めたが、県も、国も、補助対象年齢が大体50歳未満となっている。最近は、55歳、60歳、70歳といっても、元気ばりばりなので、そこら辺の年齢層も少し上げてもらえないか、農業への入口をもう少し広げてもらえないかと考えている。</p>	<p>国の「農業次世代人材投資資金（経営開始型）」は、経営が不安定な就農初期段階の新規就農者に対して、経営確立に必要な資金を交付しており、将来の担い手となる青年等認定新規就農者を対象とし、対象年齢は原則50歳未満となっています。今後、必要に応じて、国に対し、補助対象年齢の引き上げ等についての要望を検討してまいります。</p> <p>なお、県では、各地域振興局・支庁に「就農相談センター」を設置し、県内外での就農相談、技術・経営管理の向上支援などに取り組んでいるところです。</p> <p>また、経営段階に応じた補助事業等の助言等も行っておりますので、熊毛支庁農政普及課に御相談ください。</p>	経営技術課

知事とのふれあい対話（中種子町）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
ガソリン価格の本土との格差対策について	<p>ガソリンについて、昔160円を3ヶ月超えたら税金分を差し引く、トリガー条項というのを入れている。</p> <p>上乗せ課税の25円と10銭を撤廃できる、そういうような条項があったが、東北の震災で、税金をそちらに使うということで、一応停止されているというような状況になっている。5円安くなったとしても、本土のハイオクよりも高い、種子島の方が、5円安くなってもレギュラーで185円。</p> <p>ここら辺も国の方に、要望を上げてもらえないかなと考えている。</p>	<p>離島地域におけるガソリン等価格の本土との格差については、平成23年5月から、国において、離島ガソリン流通コスト支援事業が実施され、種子島でも1リットル当たり10円が補助されており、一定の効果はあるものと考えています。</p> <p>物価などの地域格差の是正について、県ではこれまで、国に対し、同事業の継続・拡充について、県開発促進協議会等を通じて要望しているところです。</p> <p>今後とも、離島住民の負担軽減が図られるよう取り組んでまいります。</p>	離島振興課
知事が思い浮かべる10年後の鹿児島について	<p>知事が思い浮かべる10年後の鹿児島、10年後の離島、種子島について思い浮かべてるものを、お聞きしたいのと、民間とどうやってタッグを組んで、実行できるか、実現できるか、そういう何かヒントになるようなお話があればお聞きしたい。</p>	<p>離島地域については、物流や医療、物価など、依然として本土との格差があります。</p> <p>県では、県全体のデジタル化を推進し、社会変革を実現することで、離島や中山間地域などにおける、条件不利性の解消もしくは軽減につなげるための取組を推進したいと考えています。</p> <p>一方で、ロケット発射場のある種子島をはじめとする各島の特色ある独自の自然、文化、伝統、多様なコミュニティなど、多様性を有する離島は、まさに鹿児島の宝であると考えております。</p> <p>このような離島の多様で豊富な物的・経済的資源を活用するとともに、交通基盤などの社会資本の整備と、さらなる産業振興を図ってまいります。</p> <p>また、航路・航空路の運賃軽減や、輸送コスト支援、ICT技術を活用した遠隔医療の充実など、条件不利性の改善に引き続き取り組むとともに、定住促進や観光振興などを図ってまいります。</p>	デジタル推進課 離島振興課

知事とのふれあい対話（中種子町）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
離島の森林組合に対する助成制度の拡充について	<p>県内の本土組合では発生しない費用が、離島ということもあって本組合の経営を圧迫している。</p> <p>チップ出荷時においても、離島活性化交付金を80%もらっているが、4000万程度の支出で、80%引いても1300万程度の支出が出るのが現状。</p> <p>現在、鹿児島県森林組合連合会で森山会長の指示により、熊毛奄美地域の現状を調査し、各機関への要望活動を準備しているところ。</p> <p>こういったことを考えるとぜひ、知事におかれては、県単独事業による、離島の森林組合に対する助成制度の拡充をお願いしたい。</p>	<p>森林組合が取り組む木材生産に対しては、間伐や路網の開設、高性能林業機械等の導入などを支援しています。</p> <p>また、令和3年度からは島外出荷のための木材の仕分け作業に対して県地域振興推進事業により支援を始めたところです。</p> <p>離島活性化交付金につきましては、離島の実情が反映され、更なる制度の充実が図られるよう、引き続き、市町村と連携しながら、県開発促進協議会等を通じて、国に対し、要望してまいりたいと考えております。</p>	環境林務課 離島振興課
高速船の最終便の時間について	<p>種子島と鹿児島間的高速船について、現在、臨時便ということで非常に、最終便が早くなって、島に日帰りする人も大変多いが、仕事ができないというのが現状。ぜひ知事の方においても、種子島に向かう最終便をもっと遅くまでできないのか。大変便数も少なくなっているのので、ぜひその辺を検討してもらえばと思う。</p>	<p>今般いただきました御要望について、関係事業者に情報提供します。</p>	交通政策課

知事とのふれあい対話（中種子町）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
サトウキビ農家への助成について	<p>中種子町のサトウキビ農家の戸数、作付面積が年々減少し、後継者不足と高齢化により、廃作していた農地が遊休地、もしくは耕作放棄地となっている。サトウキビの機械を持ってない農家が、サトウキビの作業を他に頼んだ場合、すべて、委託で頼んだ場合、手元に残るお金はない。</p> <p>そこで、兼業農家、小規模農家に対する、作業委託の助成を含めて、その環境整備、県が中心となって中種子町も含めて検討してほしい。</p>	<p>県は、サトウキビの生産拡大を図るためには、単収・品質の向上が重要だと考えており、「さとうきび増産計画」に基づき支援に取り組んでいるところです。</p> <p>サトウキビには、国の糖価調整制度に基づく生産者交付金がありますが、本交付金は受委託費を含めた生産者の生産コスト等を考慮して交付金額が決定されているところです。</p> <p>生産者交付金につきましては、生産者が意欲を持って取り組めるよう、再生産可能な水準の確保について、県開発促進協議会等を通じて国に要請しているところです。</p> <p>また、小規模農家等のサトウキビの機械導入については、農業・農村活性化推進施設等整備事業での対応が考えられますので、熊本支庁農政普及課、町に御相談ください。</p>	農産園芸課
新規就農者（Iターン者、Uターン者等）の受入体制の整備に係る助成について	<p>大規模農家や、これから大規模を目指す法人について問題となっているのは、人員不足というのがある。</p> <p>機械に対する補助というのはたくさんあるが、その機械を導入したところで、乗る人がいないと。今、親子2世代でやっているところが、親世帯が引退したときに、ここまで2人で広げてきた畑を子供世帯、1代で全部仕切るのがかというところが問題になってきている。</p> <p>そこで、Iターン、Uターン者の確保、受け入れ体制のインフラ整備、その助成をお願いしたい。</p>	<p>県では、市町村と連携して、大都市圏における移住・交流セミナーの開催や移住後の生活に対する相談対応などに取り組んでいます。</p> <p>また、各地域振興局・支庁に「就農相談センター」を設置し、新規就農者の確保に努めており、中種子町においては、令和2年度にUターン2人、Iターン1人の計3人が新規に就農したところです。</p> <p>今後とも、関係機関・団体と連携しながら、新規就農者への支援に取り組んでまいります。</p> <p>なお、中種子町は、種子島農業公社を設立し、同町で就農を希望する方に対して、農業研修を実施しています。</p>	地域政策課 経営技術課

知事とのふれあい対話（中種子町）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
知事のトップセールスについて	<p>マニフェストの県民が豊かになる産業振興，農林水産業の振興という項目で，知事が営業マンとなって，国内外に向けてトップセールスを行って，最終的に，稼ぐ力というのを向上させたいというものがあつた。個人的に安納芋を作ってるものとして，安納芋において，これまで，具体的に現実的にそういう取組があつたかをお尋ねしたいのと，また今後，そういう予定なり，対策なりとか，あるのかというのもお尋ねしたい。</p>	<p>トップセールスについては，コロナ禍の影響で県外との往来が難しい状況が続いておりましたが，コロナの感染状況が落ち着いてきたところから，昨年10月に，本県の物産展で最も規模の大きい東武百貨店（池袋店）を訪問し，トップの方々に対して，今年度初めて年2回開催した物産展を，来年度以降も年2回開催いただくよう要請し，ご了承いただいたところであります。</p> <p>今後とも物産展や量販店でのトップセールスなどにより，安納芋をはじめとした県産品のPRや販路開拓などを行ってまいります。</p>	かまごしPR課
サツマイモ基腐病対策について	<p>基腐病について，県の補正予算で，種芋の殺菌に対して，補正予算が出たというニュースを見た。今後やっぱり，予防とか，消毒とかということも並行して，基本の土づくりを行っていくことで，やっぱり何を作っても，この畑は，健康で元気でいい畑だと，安納芋を作るからではなくて，そういうたい肥の補助だったりとか，圃場整備だったり，土層改良をしていただきたい。</p>	<p>令和4年産に向けては，国との共同研究により基腐病の発病抑制効果が確認された種いもの蒸熱処理装置について，農協等の育苗施設における導入を支援するほか，マスメディア等を活用した防除対策に係る幅広い注意喚起や基腐病に強い品種の増殖技術確立に係る試験研究に取り組むこととしています。</p> <p>また，さつまいも生産者の経営安定を図るため，国の事業を活用し，これまでの資材等の支援や，継続栽培支援に加え，新たに交換耕作，排水対策・土層改良等に対する支援を行うこととしております。</p> <p>県としては，引き続き，関係機関・団体と一体となって，基腐病対策に取り組んでまいります。</p>	農産園芸課

知事とのふれあい対話（中種子町）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
農家の経営継続補助金について	<p>種子島の生産者としては多分特殊だと思うが、JAに所属してないので、そういう制度とかは、もちろんなかなか利用する環境にはないが、やっぱり、生産してるという事実はあるので、何かしらこれから続けていきたいと考えている。前回、コロナ禍の中で、経営継続補助金というのがあった。そういう補助金制度は、私のような形態の生産者には全く無縁だと思っていたものが、利用できてとても助かったところ。</p> <p>その際に、実際熊毛支庁の職員に大変お世話になり、やっぱりこれからも、芋を少しでも作り続けて、恩返しができればなと思うところが強かった。そこら辺について、予算も難しい話だと思うが、具体的に何かあったら、教えていただきたい。</p>	<p>国や県では、このようなコロナ対策に限らず、生産対策をはじめ、様々な補助事業や融資制度等を実施しております。</p> <p>農業機械等の導入が可能な中心経営体等施設整備事業や、ビニールハウスの整備については、農業・農村活性化推進施設等整備事業での対応が考えられますので、県熊毛支庁農政普及課または、町役場に御相談ください。</p>	<p>経営技術課</p> <p>農政課</p>

知事とのふれあい対話（中種子町）における参加者の主な意見及びそれに対する県の対応等

意見項目	主な意見（要約）	県の対応等	課名
<p>K-GAPの取得について</p>	<p>K-GAPを取得しているが、安納芋の販売に、何か影響してるかとか、そういったところがなかなか感じられない。あとK-GAPの浸透性、たまにAコープとかでシールが貼ってたりとか鹿児島市内の方に行くと、そういうものにすごく興味のある方とかには、知られていることかもしれないが、その辺実際に実情としてどんなものかを聞いてみたい。</p>	<p>かごしまの農林水産物認証制度（K-GAP）に取り組むことにより、農林水産物の安全性の確保や、無駄のない経営管理によるコスト低減に加えて、消費者・流通業者からの信頼の確保など、さまざまな効果があると認識しております。</p> <p>今後とも、制度の充実や認知度向上等に取り組み、本県農林水産物の安心・安全の確保に努めてまいります。</p>	<p>かごしまの食ブランド推進室</p>